

マシン

マシンの使用方法とビットの種類

マシンの使用方法と注意点

- マシンは、コントローラーとハンドピースがあります。
ハンドピースは精密機器なので取扱に気をつけます。
- ビットの挿しっぱなしや、落としたりすると中のシリンダがズレて故障の原因となります。
- ビットも高速回転しますので少しの歪みでも使用することができなくなるので気をつけましょう。
- ジェルやアクリル用、ハンドケア用、フットケア用、足裏ケア用など様々な用途に合わせたビットがあります。
また、同じ用途でも素材や形状、粗さが違うビットがあります。

ビットの種類

●素材の種類

シルバー、ゴールド、ピンクゴールド、ジルコニア、ユニコーンなどがあります。
素材によって熱伝導が違うので摩擦熱の発生加減が違います。
また素材によって同じ目でも削れる粗さが多少違います。

●形状の種類

使用目的に合わせて様々な形状のビットがあります。
円柱型、先端が丸い円柱柄、コーン、ボール、スリムなど。
フィルインには円柱型や先端が丸い円柱を使用します。

●目の粗さ

ビットは目の荒さがファイン、ミディアム、コースと3段階あります

- ・ファイン 180グリット程度
- ・ミディアム 150グリット程度
- ・コース 100グリット程度

●用途にあったビット選び（ハンド）

<ケア>

*ピンクセラミックビット

（グリーンもありますが、ピンクよりグリーンの方が目が細かいです。

しっかりルースキューティクルを取り除くにはピンクビットの通常サイズがおすすめです）

<フィルイン>

*ホワイトカーバイト・スモール・ミディアム

（熱伝導しにくく摩擦熱が起きにくい。先端が鋭いので皮膚に当たると切れてしまうので注意が必要）

*カーバイトスムーストップ・ミディアム

（先端が丸いので切ってしまう心配が少ない。先端部分は削れないので、繊細な浮きの除去はしにくい）

マシンの当て方

●ビットの回転速度

ジェルやアクリルを削る時は、速さのコントローラーを真上くらいの速さにセットします。

自爪に当てる場合は、コントローラーを真左くらいの速さにセットします。

●ビットの角度

どのビットを使用する場合も、ビットの角度がプレートに対して立ってしまうと溝を掘ってしまいます。ビットの角を当てないように、面の部分を当てるように意識します。

特にコーナー部分はビットが立ちやすいので注意。

●摩擦熱

マシンを当てていると、摩擦するので、同じ箇所を長時間当てると摩擦熱が起こり熱を感じます。同じ場所は3秒以下で、場所を変えながら削るようにしましょう

●振動

マシンで削っていると、振動を感じます。爪は、縁の辺でしかさせられていないので、特に振動を感じやすいです。

●恐怖心

マシンは熱くて痛い、怖いと感じるお客様もいらっしゃいます。それは、ネイルの施術で、摩擦熱や振動に対して配慮のない施術を受けたトラウマがあることがほとんどです。摩擦熱を感じさせないような背術、振動を感じにくい、左手の持ち方など、お客様の感じ方や気持ちに配慮した施術が大切です